

東海環状自動車道 本巣 IC～大野神戸 IC 8月30日開通

8月30日、東海環状自動車道の本巣 IC～大野神戸 IC までが開通しました。今回の開通により、本自動車道を介して名神高速道路と東海北陸自動車道がつながり、新たな広域ネットワークが構築されます。これまで以上に人や物の交流が活発となり、観光振興、地域経済の活性化など、この地域の将来に大きな効果をもたらしてくれることが期待されます。

現在、大野神戸 IC 周辺におけるまちづくり整備事業を進めており、道の駅「パレットピアおおの」北側区域において、新たに商業・宿泊施設の開業に向けた造成事業を進めています。今回の開通を大野町が大きく飛躍する契機と捉え、今後も賑わいや活気のあるまちづくりを進めてまいります。



元気に遊ぼう!楽しく学ぼう!!おおの木育フェア!!!

おおの木育フェア2025を開催します

町では、平成27年より「木とふれあい、木に学び、木と生きる」をテーマとした木育の取組みとして、子育て世帯を中心に町内外の皆さんを対象とした「おおの木育フェア」を開催しています。

今年度も総合町民センターにて「おおの木育フェア2025」を開催します。イベント内容の詳細については、決まり次第ホームページ等でお知らせします。

皆さま、お誘いあわせのうえ、ぜひご来場ください。



▲令和6年度開催時の様子

イベント内容：木のおもちゃ広場、保育士による木育ワークショップ、段ボール迷路、キッチンカー、協力企業・団体による出展ブースなどを計画しています。

開催日時：11月3日（月・祝）午前9時～午後3時

開催場所：総合町民センター ※レインボースタジアムでの開催はありません。

*「おおの木育フェア2025」は清流の国ぎふ森林・環境税を活用しています。



開 駅7周年を迎えました！

道の駅「パレットピアおおの」

7月11日、道の駅「パレットピアおおの」は7周年を迎えました。記念セレモニーの中で町長は「8月末の東海環状自動車道本巣IC～大野神戸IC開通を見据え、多くの人に利用してもらえよう更にブラッシュアップしたい」と述べ、東駅長は「みんなに愛される道の駅を目指したい」と意気込みを伝えました。

3日間のイベントでは、あまぎの振る舞いのほか、盆踊りや鮎のつかみどりなど、たくさんの催物を実施し、多くの人で賑わいました。



▲記念セレモニーの様子

災害時等の相互応援を

高知県高岡郡佐川町と相互応援に関する協定を締結

6月25日、町は高知県高岡郡佐川町と、災害時等の相互応援に関する協定を締結しました。

今回の協定により、災害等が発生した町が独自では十分な応急措置等が実施できない場合に、当該災害等の被害を受けていない町が、被災町における応急、復旧、復興対策等を円滑に遂行するための相互応援体制が整いました。

協定の経緯として、両町から明治時代に出身者が北海道北見市（旧常呂町）に入植しており、昨年に同市で開かれた式典に両町の職員が出席した際「交流を深め、助け合っていきたい」との意見で合致し、今回の協定が実現しました。

締結式で、町長は「佐川町、大野町の防災意識・地域防災力が高まることを期待するとともに、北海道北見市を併せた3市町間の絆を深めたい」と述べると、佐川町長は「大野町との交流の新しい第一歩を踏み出した。素晴らしい関係を築いていきたい」と述べました。



▲片岡 雄司 佐川町長（右）

大野町の自治振興のために

大野町サービス会

7月7日、大野町サービス会の会長の加納文男さんと、前商工会長の羽賀茂樹さんが来庁し、町の振興に役立ててほしいと現金200万円を寄付しました。

この寄付は、大野町の各事業に大切に活用させていただきます。



▲目録を手渡す加納会長（中）、羽賀前商工会長（左）

北見市
ところ通信
Vol. 307

大野町小学生児童国内派遣事業で常呂町へ

— 常呂町で思い出いっぱい夏休み —

7月22日～25日、大野町小学生児童国内派遣事業で児童16人が常呂町を訪れ、牧場や漁業施設の見学、カーリング体験などを行いました。

24日には、大野町とゆかりのある常呂町岐阜地区の錦水小学校の児童たちと交流。交流会では、5、6人のグループに分かれ児童同士で懇談し「修学旅行はどこに行くの?」「好きなスポーツは?」などの話題に会話が弾み交流を深めました。

また、漁業施設の見学では「ホタテは何をエサにするの?」「サケを放流したら、何パーセントくらい帰ってくるの?」など積極的に質問をする場面があり、熱心に学ぶ児童たちの姿が見られました。



全国での健闘を誓う

東海大会・全国大会出場者 激励会

6月24日「第28回東海小学生ソフトテニス選手権大会」に出場する中小学校5年 牧村明果さんの激励会を開催しました。

牧村さんは「1戦1戦大切にして、1つでも多く勝ち抜きたい」と強く述べました。

町長は「体調には十分気をつけて、上位を目指して欲しい」と激励しました。



▲中央左から服部さん、林さん

7月3日「第26回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会」へ出場する北小学校4年 林愛莉さんと「全農杯 2025 年全日本卓球選手権大会（ホープス・カップ・パンビの部）」へ出場する中小学校2年 服部匠真さんの激励会を開催しました。

林さんは「強い選手がいますが、優勝したいです」と、服部さんは「まずは、1勝できるように頑張ります」と強く述べました。

町長は「今までの練習成果を出し切って欲しい。また1つでも多く勝利し、経験を得て欲しい」と2人を激励しました。

7月17日、「全国高等学校総合体育大会」に出場する間 琉莞さん、長谷部光輝さんと「全国高等学校定時制通信制体育大会」に出場する 呉坤さんの激励会を開催しました。

間さんは「学校対抗戦なので、団結して1つでも多く勝てるようにしたい」と強く述べました。

長谷部さんは「大会では、格上の選手から多く学びたい。また自己ベストを更新したい」と大会に挑む決意を述べました。

呉さんは「感謝の気持ちを忘れずに、ベストを尽くしたい」と意気込みを述べました。

町長は「それぞれの目標に向かって、結果を残して欲しい。また体調管理には十分気をつけてベストの状態で挑んで欲しい」と3人を激励しました。

出場される選手は次のとおりです。（敬称略）

○全国高等学校総合体育大会

県立岐阜工業高等学校3年 間 琉莞（レスリング競技・学校対抗戦）

県立岐阜商業高等学校1年 長谷部 光輝（陸上競技・走幅跳）

○全国高等学校定時制通信制体育大会

県立大垣工業高等学校1年 呉 坤（陸上競技・800m、1500m、4×400mリレー）



▲左2番目から長谷部さん、間さん、呉さん

長寿のお祝い

95歳おめでとうございます
これからも健やかに



後藤 榮子さん（大野）